



株式会社 光栄ビルサービス SDGs宣言

当社は、SDGsの達成に向けて、後述の取組を含む社内外に好循環を生み出す取組を推進し、PDCA（計画-実行-評価-改善）サイクルに沿った継続的な取組およびその改善を、ここに宣言します。

2024年 2月 17日

株式会社 光栄ビルサービス 代表取締役 藤井 香緒里

人権・労働

環境

<具体的な取組内容>

<具体的な取組内容>

- 各現場の責任者が仕様書及び作業環境等の確認を徹底し、労災事故防止に努め、常に高い意識を持って労働安全衛生に取組み、業務を遂行していく
- 既定の育児・介護休暇制度の積極運用に努め、より多様な人材が活躍できる職場環境を目指していく

- 清掃業務で生じる排水等を環境に配慮した処理の徹底を図り、水環境や生物多様性について高い意識を持って事業活動を行う企業として、責任ある取組みを自ら発信していく
- 業務で生じる廃材等のリサイクルを積極推進し、まだ活用できるものは自社で再利用するなど、経費のみならず廃棄物削減にも寄与していく

<関連のあるゴール>

<関連のあるゴール>



製品・サービス

内部管理・組織体制・社会貢献

<具体的な取組内容>

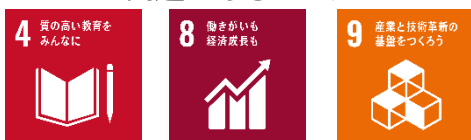
<具体的な取組内容>

- 過剰な施工項目や施工範囲を可能な限り除外することに加え、職人の多能工化による業務の一本化を図り、お客様目線で業務を遂行していく
- 現場で聞かれるお客様の声、依頼や要望を持ち帰り、自社での対応可能性を追求する姿勢を守り続け、常日頃から職務領域の拡大を図っていく

- 地域の人材を年齢や性別に関係なく積極的に採用し、未経験者でも育成していくことによって、地域の人材活用に貢献していく
- 事業者として地域住民への配慮を徹底し、また自治会等のコミュニティに対しても協力や連携を行うことによって、地域全体で住みやすい街づくり目指していく

<関連のあるゴール>

<関連のあるゴール>



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。